

情報行動におけるメディア選択 モンゴル遊牧民の携帯電話利用を事例に

堀田あゆみ（関西学院大学）

「情報」を研究対象として扱う分野は多岐にわたり、その定義も分野や研究者によって異なるが、おおよそどの分野でも「情報社会」を定義する際には、情報通信技術（Information and Communication Technology）やICTインフラの拡充された社会を想定している。情報化社会の起りを書字、印刷、マスメディアの発明に求め、ICTの記録や通信設備が情報処理機能に進化するに至って情報（化）社会の実現化であると説くものや[Floridi 2017]、情報社会は農耕社会から工業社会への転換を経た次の段階に到来するといった言説が受け入れられてきた状況がある。

人類はさまざまな種類の情報社会で生きてきたとしながらも、あたかも単線的な進化によってICTの拡充された社会に到達するかのごとく語られ、ICTの“未成熟”だとみなされる社会がどのように情報と関わってきたのかは議論から取りこぼされてきた。

しかし、その一方で、時代や技術とは関係なく、社会は情報によって構成され情報によって動いており、コンピュータやインターネットがない時代から、情報をやりとりするネットワークを形成してきた遊牧社会や漁労社会はもとより情報社会だったとする見方もある[春木 2004, 奥野 2008]。

遊牧社会こそ情報社会であると考える発表者は、モンゴル遊牧民の物質文化研究を通して、モノが世帯間を移動するという現象を読み解く過程で、モノが情報であり、モノの情報をめぐって情報戦が繰り広げられている実態を明らかにしてきた。彼らは、朝起きてから眠るまで、ひっきりなしに来訪者を受け入れ、あるいは自ら訪問者となって、あらゆる情報を会話として交換している。モノの情報もその一部に過ぎないという状況から、発表者はモンゴル遊牧社会を情報指向性の強い「情報社会」と想定し、そこで扱われる「情報」の内容、および情報収集・管理・伝達・分配の技法、これらを文化として提示しようと考えた。情報の世界を捉えることができれば、より多角的・重層的に当該社会の在り方に迫ることが可能となる。それゆえ、本研究は、モンゴル遊牧社会における「情報」や情報をめぐる相互行為である「情報行動」に焦点をあて、情報文化を読み解くことを目的とする。

本発表では、この情報文化を構成する重要な要素である「情報行動」と「情報媒体（メディア）」に着目し、情報メディアの一つである携帯電話を特に取り上げる。携帯電話で扱われる情報の特徴を明らかにし、

モンゴル遊牧民の情報行動におけるその位置づけを検討する。

「情報行動」というのは、情報を行為の対象とし、情報を獲得・生産・授受・蓄積・加工することを指す[橋元 1990]。別の定義では「情報を環境との相互作用の中で引き出したり、行動主体にとって必要な情報を搜したり、また、行動主体の一つの行動として情報を伝えたりすること」[北村 1970]であり、つまり、生活のあらゆる場面において情報が行為の対象となる相互行為のことと意味する。

モンゴル国で携帯電話サービスが始まったのは1996年である。2011年には携帯電話使用者数が人口を上回り、2014年時点では一人当たり1.7個を持つ。都市部がシェアの90%を占める固定電話回線は2000年以降横ばい状態であることから、地方へは主に携帯電話が普及したといえる。

本発表では、モンゴル国有数の遊牧地域であるアルハンガイ県において実施した、遊牧民の情報行動に関するフィールド調査の結果を元に、携帯電話の利用状況、通話内容（通話のタイミング、相手、用件）を具体的に提示し、彼らの日常的な情報行動において、携帯電話がどのような情報メディアとして位置づけられているのかを考察する。

【参考文献】

- Floridi, Luciano. 2014 *The Fourth Revolution: How the Infosphere is Reshaping Human Reality.* Oxford University Press. 『第四の革命—情報圏が現実をつくりかえる』春木良且、犬東敦史監訳、先端社会科学技術研究所訳、新曜社、2017.
- 春木良且 2004 『見えないメッセージ—情報と人間の関係をさぐる』フェリス女学院大学.
- 橋元良明 1990 「ミクロ的視野からみた「情報」と「意味」—「情報行動学」と言語哲学との架け橋」東京大学新聞研究所編『高度情報社会のコミュニケーション構造と行動』東京大学新聞研究所, pp.89-106.
- 堀田あゆみ 2018 『交渉の民族誌—モンゴル遊牧民のモノをめぐる情報戦』勉誠出版.
- 北村日出男 1970 『情報行動論』誠文堂新光社.
- 久保正敏 1992 「情報に対する価値意識の変容」『情報の科学と技術』42巻6号、情報科学技術協会, pp.564-571.
- 奥野卓司 2008 『ジャパンクールと情報革命』アスキーメディアワークス.

キーワード 情報行動、モンゴル遊牧民、情報社会、携帯電話